

OB会の思い出

福重康弘



OB会事務所にて

福東OB会が創立二十周年というところで、私にとつてのOB会の思い出を振り返って見たいと思います。私が福東OB会に入つたのは定年退職した一六年前の春四月です。思い出の一つ目。その時は今のように事務所もなく、集いの会は町の交流館の会議室を借りてやりました。今は保原と小高それぞれ開催していますが、当時は一緒に開催してました。会議室を予約する故照井さんの姿と重なって懐かしい思い出です。二つ目。何と云っても楽しいのは飲み会でしょう。旅行・忘年会等の思い出。遠慮のいらぬワイワイがやがやの雰囲気が好きでした。新年会は最近ま

たでは事務所をやつてました。狭いながらも楽しい事務所での新年会でした。三つ目。最大の思い出は、私が入会した一六年前は、OB会のメンバーが一人も欠けることなく、元気で活動できていたことです。OB会を設立した先輩諸氏も含め皆、元気でバリバリ。これからどうやってOB会を盛り上げて行こうかと意気揚揚でした。しかし時の流れは時に残酷な結果をもたらしました。みんな元気だったあの頃の活動が懐かしく蘇ります。四つ目。小啻を一つ。小銭を一年間貯めて、暮れに散財するという癖。幹事さんは交代で月一回当番で事務所に出来ます。その時日当五百円が出ます。私も会計担当幹事として出ていました。その日当五百円を一月から十二月まで一年間プールします。一年で六千円になります。質問です。それを私は何に遣つ

たでしょうか。それは正解の発表です。そうですJR Aです。暮れの有馬記念に考えに考えた抜いた勝負は三連単。三、四年程続きました。安心してください。今は自分の小遣いで勝負してですよ。

思い出

権藤齊嗣

山の家はどうなっているのか？ 五月の連休に長男が連れて行ってくれた。案の定、故長谷川君が湯守りをしてくれていて、建物は残っていた。しかし周りは山菜採りの場所と化していた。コシアブラを末木さんに教えて貰った事や懐かしいカラオケ風景を思い出します。山を家の



本社からの水晶関係者の集いの記念(左端：権藤)



高湯平山荘

管理人の料理の”根曲がり竹”は今でも絶品です。*コシアブラ..平地から2000米級までの林中などに生える。葉には5枚の小葉が掌状に集まり、長い柄がある。(ごまあえ、てんぷら)にして食べる。*小生は週一でリハビリに通っています。杖が必要になりました。森の案内人”はもうできません。

宮崎の旅の思い出

遠藤洋

福東OB会の皆様、お元気でお過ごしのことと思ひます。今回は、宮崎の旅の思い出について書かせていただきます。私は浜通りの南相馬市に住んでおりますが2011年の東日本大震災以降、一時避難された方が多くいられた後に「ふるさと帰還カード」が発行されて、現在に至っております。福島県内から高速道路に入れば、途中高速道路

を出なければ、どこまで行っても「無料」という便利なカードです。しかし、震災から12年が経ち、今年10月には、見直しがおこなわれ一定の区間のみ使用が可能と変更となる予定です。この「高速無料カード」を利用しての旅を書きます。何年前だったかな？ 時期は8月下旬の頃でしたが、福東OBの方達4人と共に(この中には、亡き時政さんも加わり)、福島の飯坂インターに午前6時頃に入りました。当然、車の大きなアイスボックスに日本酒、ビール等のアルコールをたくさん積み込み交互に運転しながら、行ける所まで行こうと出発しました。新潟・富山を経由して、京都の手前から、瀬戸内海側を走り、一泊目は下関インターの手前で夕方となり、



時政さん作成の魚絵と共に

たくさんトラックが駐車しており、インター内には風呂場も有るような大きなインターでしたが、そこで、夕食を取り、アイスボックスをテーブルにして宴会を行い、周りの人から変な顔で見られた記憶が有ります。二日目は、下関インターで朝食を取り、宮崎西インターで高速を降りました。ゲートの担当の方に、「ふるさと帰還カード」を見せたら、「このカードは何ですか？見た事が有りません。」と言われました。宮崎では、ゴルフを楽しんだり、亡き時政さんが描いた、「石の魚絵」の師匠宅に寄らせてもらったから、家の至る所に魚絵が有ったのを懐かしく思い出します。現在では、片道1600km、高速代3万円の旅でしたが、なかなか味わう事ができないような経験をすることができた旅であると、今でも心の中に残っています。